

— あなたの夢はなんですか？ —

今回はビブリオバトルをお休みして、メンバーと「いつかなりたい自分」について語り合ってみました。事前に「将来したい仕事についての本や職業を決めるのに役立つ本を持ってきてね」とお願いしていたのですが、予想以上にバラエティに富んだラインナップとなりました。メンバーのひとつとともにご紹介します。

『かわいい映画のかわいいレシピ。』（ワニブックス）

小さいころ「お菓子屋さんになりたい」と思っていた。今でもお菓子作りが大好き。この本があれば、映画で見た“あの”料理が再現できる。絵本の「ぎょうれつのできるケーキ屋さん」も最後にレシピが載ってるのでおすすめ。

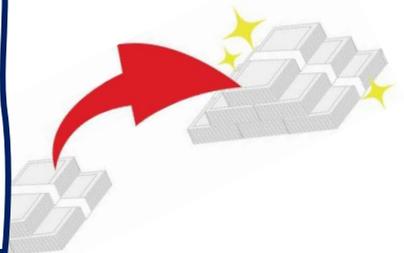


『青い鳥文庫ができるまで』岩貞るみこ/作(講談社)

本を読むのが好きでも、それがどうやってできるのかは知らない。この本を読むと、小説を作る大変さがよくわかり、本がもっと好きになる。それに、元気ももらえる。本作りをしたい人はぜひ読んでみて。

『お父さんが教える 13 歳からの金融入門』  
デヴィット・ビアンキ/著(日本経済新聞出版社)

お金は稼ぐんじゃなくて、増やしたい！では、どうすればいいの  
か？  
そう思ったなら読んでみて。お金の運用方法がわかりやすく書いてある。まずは経済を知ること。そこから始めよう。



『不思議なウィーン』河野純一/著(平凡社)

音大に進学を考えていて、声楽も習っている。日本語の歌詞は歌うのが難しいので、まずイタリアやドイツの歌から始める。将来外国に留学したら、どんな感じなのかなあ、と思いながら読んだ本。



『元彼の遺言状』新川帆立/著(宝島社)

将来法律関係に進みたい。この本の作者は、自身が弁護士で、法律関係の小説をたくさん書いているので、自分が弁護士になった時のイメージがつかめる。「競争の番人」という著作もあるが、こちらは公正取引委員会のお話。もちろん、この本もおすすめ。



『僕には鳥の言葉がわかる』 鈴木俊貴/著(小学館)

作者は動物言語学者。シジュウカラがあやつる言葉を色々調べた人で、どんなふうにしたのかが書いてある。鳥に関係する仕事がしたいと思っているので、とてもおもしろかった。



『アフターハイスクール』 名古屋外国語大学出版会/編  
(名古屋外国語大学出版会)

高校を卒業したあと、どうする？まだ何も決まらなくても、決められなくても大丈夫。いつか「したいこと」「なりたいもの」が見つかる。一度日本を離れてみるのもいい。この本を読めば、行ってみたい国が見つかるかも。

『WE HAVE A DREAM』  
WORLD DREAM PROJECT/編(いろは出版)

夢ってなんだろう……。将来就きたい職業？なりたい自分？目を地球全体に向けてみたら、世界にはいろいろな未来を夢見て今を一生懸命生きている人たちがいる！そんな人たちの声を聞いてみたら、自分のすすむ道も見えてくる。

10代の今、将来が決められなくても大丈夫。でも、何か行動を起こしてみたくになったら、今回紹介した本たちを、手に取ってみてください。悩んでいる時、誰かの話を聞きたくなった時、きっと話し相手になってくれますよ。



### — 秋のイベントに向けて —

YA 研のメンバーと利用者さんのコラボ企画「物語を作っちゃおう」(仮)に向けて、少しずつ前進しています。「参加者に何かプレゼントをしたい！」とのメンバーの熱い声を受け、そちらの準備にも取り掛かりました。物語を書くのはちょっと・・・という方のための“お楽しみ”も用意する予定です。

みなさまのご参加をお待ちしています。

YA 研の展示コーナー  
今回のテーマ「WE HAVE A DREAM」【期間:8/17~】